

5大がん以外のがんに対する診療機能

期間：平成26年3月1日現在

1. 脳腫瘍

○ ○：専門とするがん ×：診療を実施していないがん

	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況（○：実施可/×：実施不可） /昨年の実績（あり/なし）※平成25年1月1日～12月31日						
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	状況 実績	手術	化学療法	放射線療法			
							体外 照射	定位 放射線療法	IMRT	小線源治療
1	脳神経外科	4	3	状況 実績	○ あり	○ あり	× なし	× なし	× なし	× なし
2	放射線科	1	1	状況 実績	× なし	× なし	○ あり	○ あり	○ なし	× なし
3				状況 実績						
4				状況 実績						
5				状況 実績						

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例：神経膠腫（びまん性星細胞腫、退形成性星細胞腫、膠芽腫など）、髄膜腫、神経鞘腫、下垂体腺腫、胚細胞腫、悪 神経膠腫、びまん性星細胞腫、退形成性星細胞腫、膠芽腫、髄膜腫、神経鞘腫、胚細胞腫、悪性リンパ腫、頭蓋咽頭 腫、転移性脳腫瘍
------------------------------------	---

2. 脊髄腫瘍

○

○：専門とするがん ×：診療を実施していないがん

	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況（○：実施可/×：実施不可） /昨年実績（あり/なし）※平成25年1月1日～12月31日						
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	状況 実績	手術	化学療法	放射線療法			
							体外 照射	定位 放射線療法	IMRT	小線源治療
1	整形外科	2	2	状況 実績	○ あり	× なし	× なし	× なし	× なし	× なし
2	放射線科	1	1	状況 実績	× なし	× なし	○ あり	○ なし	○ なし	× なし
3				状況 実績						
4				状況 実績						
5				状況 実績						

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例：脊髄腫瘍
	脊髄腫瘍

3. 眼・眼窩腫瘍

○ ○：専門とするがん ×：診療を実施していないがん

	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況（○：実施可/×：実施不可） /昨年の実績（あり/なし）※平成25年1月1日～12月31日								
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	状況 実績	手術	冷凍凝固術	光凝 固術	化学 療法	眼動注	放射線療法		
										体外 照射	IMRT	小線源治療
1	眼科	4	4	状況 実績	○ あり	○ あり	○ あり	○ あり	× なし	× なし	× なし	× なし
2	放射線科	1	1	状況 実績	× なし	× なし	× なし	× なし	× なし	○ あり	○ なし	× なし
3				状況 実績								
4				状況 実績								
5				状況 実績								

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例：眼瞼腫瘍、結膜腫瘍、網膜芽細胞腫、ぶどう膜悪性黒色腫、涙腺腫瘍
	眼瞼腫瘍、結膜腫瘍

4. 口腔がん・咽頭がん・鼻のがん

○ : 専門とするがん × : 診療を実施していないがん

	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日						
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術		化学 療法	放射線療法			
				摘除術	再建術		体外 照射	IMRT	小線源治療	
1	歯科口腔外科	3	3	状況	○	○	○	×	×	×
				実績	あり	あり	あり	なし	なし	なし
2	耳鼻咽喉科	3	2	状況	○	○	○	×	×	×
				実績	あり	あり	あり	なし	なし	なし
3	放射線科	1	1	状況	×	×	×	○	○	×
				実績	なし	なし	なし	あり	なし	なし
4				状況						
				実績						
5				状況						
				実績						

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例：舌がん、歯肉がん、頬粘膜がん、唾液腺がん、上顎がん、下顎がん、上咽頭がん、中咽頭がん、下咽頭がん、鼻腔 舌がん、歯肉がん、頬粘膜がん、唾液腺がん、上顎がん、下顎がん、上咽頭がん、中咽頭がん、下咽頭がん、鼻腔が ん、篩骨洞がん、口腔がん、硬口蓋がん、上顎洞がん
------------------------------------	---

5. 喉頭がん

○ : 専門とするがん × : 診療を実施していないがん

	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日						
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術		化学 療法	放射線療法			
				摘除術	再建術		体外 照射	IMRT	小線源治療	
1	耳鼻咽喉科	3	2	状況	○	○	○	×	×	×
				実績	あり	あり	あり	なし	なし	なし
2	放射線科	1	1	状況	×	×	×	○	○	×
				実績	なし	なし	なし	あり	なし	あり
3				状況						
				実績						
4				状況						
				実績						
5				状況						
				実績						

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例:、喉頭がん
	喉頭がん

6. 甲状腺がん

○ : 専門とするがん × : 診療を実施していないがん

	当該疾患の診療を担当している			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可)						
	診療科名と医師数			/昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日						
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術	化学療法	放射線療法				
			体外 照射			IMRT	小線源治療	放射性ヨード内用療法		
1	耳鼻咽喉科	3	2	状況 実績	○	×	×	×	×	×
					あり	なし	なし	なし	なし	なし
2	外科	6	6	状況 実績	○	○	×	×	×	×
					あり	あり	なし	なし	なし	なし
3	放射線科	1	1	状況 実績	×	×	○	○	×	×
					なし	なし	あり	なし	なし	なし
4				状況 実績						
5				状況 実績						

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例：甲状腺がん
	甲状腺がん

7. 縦隔腫瘍

○ : 専門とするがん × : 診療を実施していないがん

No.	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日		
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術	化学療法	放射線療法
						体外照射
1	呼吸器外科	3	3	○	×	×
				あり	なし	なし
2	内科	5	5	×	○	×
				なし	あり	なし
3	放射線科	1	1	×	×	○
				なし	なし	あり
4						
5						

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例：胸腺腫
	胸腺腫、胸腺癌、神経原生腫瘍、のう胞性腫瘍、孤立性線維性腫瘍（SFT）、奇形腫

8. 中皮腫

○ : 専門とするがん × : 診療を実施していないがん

1	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			状況 実績	治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日		
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数		手術	化学療法	放射線療法
							体外照射
1	呼吸器外科	3	3	状況 実績	× なし	× なし	× なし
2	内科	5	5	状況 実績	× なし	○ あり	× なし
3	放射線科	1	1	状況 実績	× なし	× なし	○ あり
4				状況 実績			
5				状況 実績			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例：悪性胸膜中皮腫
	悪性胸膜中皮腫

9. 食道がん

○ : 専門とするがん × : 診療を実施していないがん

No.	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			状況 実績	治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日							
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数		手術		内視鏡的治療		化学 療法	放射線療法		光線力学療法
					開胸 手術	胸腔鏡下手術	EMR	ESD		体外 照射	小線源治療	
1	外科	6	6	状況 実績	○	○	×	×	○	×	×	×
					あり	あり	なし	なし	あり	なし	なし	なし
2	内科	7	7	状況 実績	×	×	○	○	○	×	×	×
					なし	なし	なし	あり	あり	なし	なし	なし
3	放射線科	1	1	状況 実績	×	×	×	×	×	○	×	×
					なし	なし	なし	なし	なし	あり	なし	なし
4				状況 実績								
5				状況 実績								

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例: 食道がん
	食道がん

10. 小腸がん

○ : 専門とするがん × : 診療を実施していないがん

	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日			
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術		化学療法	放射線療法
				開腹手術	腹腔鏡下手術		体外照射
1	外科	6	6	○	○	○	×
				あり	あり	なし	なし
2	内科	7	7	×	×	○	×
				なし	なし	あり	なし
3	放射線科	1	1	×	×	×	○
				なし	なし	なし	なし
4							
5							

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例：乳頭部がん、十二指腸がん
	小腸がん、十二指腸がん、空腸がん、小腸カルチノイド

1 1. GIST

○ ○：専門とするがん ×：診療を実施していないがん

	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況（○：実施可/×：実施不可） /昨年の実績（あり/なし）※平成25年1月1日～12月31日		
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術	化学療法	放射線療法
1	外科	6	6	○ あり	○ あり	× なし
2	放射線科	1	1	× なし	× なし	○ なし
3						
4						
5						

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例：胃GIST、小腸GIST、大腸GIST
	GIST

12. 胆道がん

○ : 専門とするがん × : 診療を実施していないがん

No.	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			状況 実績	治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日			
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数		手術	化学療法	放射線療法	
							体外照射	小線源治療
1	外科	6	6	状況 実績	○ あり	○ あり	× なし	× なし
2	内科	7	7	状況 実績	× なし	○ あり	× なし	× なし
3	放射線科	1	1	状況 実績	× なし	× なし	○ あり	× なし
4				状況 実績				
5				状況 実績				

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例：胆管がん、胆嚢がん
	胆管がん、胆嚢がん、十二指腸乳頭部がん

13. 膵がん

○ : 専門とするがん × : 診療を実施していないがん

No.	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			状況 実績	治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日		
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数		手術	化学療法	放射線療法
							体外照射
1	外科	6	6	○	○	×	
				あり	あり	なし	
2	内科	7	7	×	○	×	
				なし	あり	なし	
3	放射線科	1	1	×	×	○	
				なし	なし	あり	
4							
5							

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例：膵がん、膵内分泌腫瘍
	膵がん、膵内分泌腫瘍、膵管内乳頭粘液性腫瘍、膵粘液性嚢胞腫瘍

14. 腎がん

○ : 専門とするがん × : 診療を実施していないがん

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数				治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日						
1	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	状況 実績	手術			化学 療法	インターフェ ロン療法	放射線療法 体外照射
					開腹 手術	腹腔鏡下手術	腹腔鏡下 小切開手術			
1	泌尿器科	4	4	状況 実績	○ あり	○ あり	× なし	○ あり	○ あり	× なし
2	放射線科	1	1	状況 実績	× なし	× なし	× なし	× なし	× なし	○ あり
3				状況 実績						
4				状況 実績						
5				状況 実績						

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例: 腎細胞がん
	腎細胞がん

15. 尿路がん

○ : 専門とするがん × : 診療を実施していないがん

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数				治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日						
1	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	状況 実績	手術			化学 療法	腎盂・尿管内注入療法	放射線療法
					開腹 手術	腹腔鏡下手術	経尿道的手術			体外照射
1	泌尿器科	4	4	状況 実績	○ あり	○ あり	× なし	○ あり	○ あり	× なし
2	放射線科	1	1	状況 実績	× なし	× なし	× なし	× なし	× なし	○ あり
3				状況 実績						
4				状況 実績						
5				状況 実績						

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例：腎盂がん、尿管がん、尿道がん 腎盂がん、尿管がん、尿道がん
------------------------------------	------------------------------------

16. 膀胱がん

○ : 専門とするがん × : 診療を実施していないがん

No.	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日				
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術		化学 療法	膀胱内注入 療法	放射線療法
				開腹手術	経尿道的手術			体外照射
1	泌尿器科	4	4	○	○	○	○	×
				あり	あり	あり	あり	なし
2	放射線科	1	1	×	×	×	×	○
				なし	なし	なし	なし	あり
3								
4								
5								

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例：膀胱がん
	膀胱がん

17. 副腎腫瘍

○ ○：専門とするがん ×：診療を実施していないがん

	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況（○：実施可/×：実施不可） /昨年の実績（あり/なし）※平成25年1月1日～12月31日		
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術	化学療法	放射線療法
						体外照射
1	泌尿器科	4	4	○ あり	○ あり	× なし
2	放射線科	1	1	× なし	× なし	○ あり
3						
4						
5						

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例：褐色細胞腫、副腎皮質がん
	褐色細胞腫、副腎皮質がん

18. 前立腺がん

○ : 専門とするがん × : 診療を実施していないがん

	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日						
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術			化学 療法	放射線療法		
				開腹 手術	腹腔鏡下手術	腹腔鏡下 小切開手術		体外 照射	IMRT	小線源治療
1	泌尿器科	4	4	○ あり	× なし	× なし	○ あり	× なし	× なし	× なし
2	放射線科	1	1	× なし	× なし	× なし	× なし	○ あり	○ なし	× なし
3										
4										
5										

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例：前立腺がん
	前立腺がん

19. 精巣がん

○ ○：専門とするがん ×：診療を実施していないがん

	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況（○：実施可/×：実施不可） /昨年の実績（あり/なし）※平成25年1月1日～12月31日		
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術	化学療法	放射線療法
						体外照射
1	泌尿器科	4	4	○ あり	○ あり	×
						なし
2	放射線科	1	1	× なし	× なし	○
						あり
3						
4						
5						

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例：精巣がん
	精巣がん

20. その他の男性生殖器がん

○ ○：専門とするがん ×：診療を実施していないがん

	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況（○：実施可/×：実施不可） /昨年の実績（あり/なし）※平成25年1月1日～12月31日		
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術	化学療法	放射線療法
						体外照射
1	泌尿器科	4	4	○ あり	○ あり	× なし
2	放射線科	1	1	× なし	× なし	○ あり
3						
4						
5						

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例：陰茎がん
	陰茎がん

21. 子宮がん

○ ○：専門とするがん ×：診療を実施していないがん

当該疾患の診療を担当している				治療の実施状況（○：実施可/×：実施不可）					
診療科名と医師数			当該疾患を 専門として いる医師数	/昨年の実績（あり/なし）※平成25年1月1日～12月31日					
主な診療科名 (5診療科ま で)	医師数	状況 実績		手術		化学療法	放射線療法		光線力学療法
				開腹 手術	腹腔鏡下 手術（腔式）		体外 照射	小線源治療	
1 産婦人科	7	7	○	○	○	○	×	×	×
				あり	あり	あり	なし	なし	なし
2 放射線科	1	1	○	×	×	×	○	×	×
				なし	なし	なし	あり	なし	なし
3			○						
4			○						
5			○						

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例：子宮頸がん、子宮体がん
	子宮頸がん、子宮体がん

22. 卵巣がん

○

○：専門とするがん ×：診療を実施していないがん

No.	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			状況 実績 状況 実績 状況 実績 状況 実績	治療の実施状況（○：実施可/×：実施不可） /昨年実績（あり/なし）※平成25年1月1日～12月31日		
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数		手術	化学療法	放射線療法
							体外照射
1	産婦人科	7	7	○	○	×	
				あり	あり	なし	
2	放射線科	1	1	×	×	○	
				なし	なし	あり	
3							
4							
5							

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例：卵巣がん
	卵巣がん

23. その他の女性生殖器がん

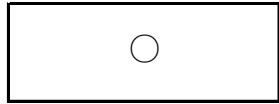
○

○：専門とするがん ×：診療を実施していないがん

	当該疾患の診療を担当している			治療の実施状況（○：実施可/×：実施不可）			
	診療科名と医師数		当該疾患を 専門として いる医師数	手術	化学療法	放射線療法	
	主な診療科名 (5診療科ま で)	医師数				体外照射	小線源治療
1	産婦人科	7	7	○ あり	○ あり	× なし	× なし
2	放射線科	1	1	× なし	× なし	○ あり	× なし
3							
4							
5							

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例：子宮肉腫、絨毛がん、卵管がん、膣がん、外陰がん
	子宮肉腫、絨毛がん、卵管がん、外陰がん

24. 皮膚腫瘍



○：専門とするがん ×：診療を実施していないがん

	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況（○：実施可/×：実施不可） /昨年の実績（あり/なし）※平成25年1月1日～12月31日					
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術	化学療法	インターフェロン療法	放射線療法		凍結 療法
							体外照射		
1	皮膚科	3	3	○ あり	○ あり	○ あり	× なし	○ あり	
2	放射線科	1	1	× なし	× なし	× なし	○ あり	× なし	
3									
4									
5									

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例：悪性黒色腫、乳房外パジェット、基底細胞がん、有棘細胞がん
	悪性黒色腫、乳房外パジェット、基底細胞がん、有棘細胞癌、菌状息肉症

25. 悪性骨軟部腫瘍

×

○：専門とするがん ×：診療を実施していないがん

	当該疾患の診療を担当している			治療の実施状況（○：実施可/×：実施不可）						
	診療科名と医師数		当該疾患を 専門として いる医師数	/昨年実績（あり/なし）※平成25年1月1日～12月31日				放射線療法		
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数		手術				化学療法	体外照射	小線源治療
			切・離断術	患肢温存術	再建術	骨移植術				
1	整形外科	1	1	○	×	×	×	×	×	×
				なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
2	放射線科	1	1	×	×	×	×	×	○	×
				なし	なし	なし	なし	なし	あり	なし
3										
4										
5										

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例：骨肉腫、軟骨肉腫、Ewing肉腫、悪性線維性組織球腫、横紋筋肉腫、平滑筋肉腫、血管肉腫、線維肉腫
------------------------------------	--

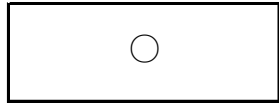
26. 血液腫瘍

○ : 専門とするがん × : 診療を実施していないがん

	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日						
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	状況 実績	化学 療法	移植			放射線療法	
						自家末梢血幹 細胞 移植	血縁者間同種造血幹細胞移植	非血縁者間同種骨髄移植または臍帯血移植	体外 照射	全身 照射
1	内科	6	6	状況 実績	○ あり	○ あり	○ あり	○ あり	× なし	× なし
2	放射線科	1	1	状況 実績	× なし	× なし	× なし	× なし	○ あり	○ あり
3				状況 実績						
4				状況 実績						
5				状況 実績						

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例：急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄 急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄 腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫
------------------------------------	--

27. 後腹膜・腹膜腫瘍



○：専門とするがん ×：診療を実施していないがん

	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況（○：実施可/×：実施不可） /昨年実績（あり/なし）※平成25年1月1日～12月31日		
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術	化学療法	放射線療法
1	産婦人科	7	7	○ あり	○ あり	× なし
2	放射線科	1	1	× なし	× なし	○ あり
3	泌尿器科	4	4	○ あり	○ あり	× なし
4	外科	6	6	○ なし	○ なし	× なし
5						

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例：後腹膜腫瘍、腹膜腫瘍
	後腹膜腫瘍、腹膜腫瘍

28. 性腺外胚細胞腫

○

○：専門とするがん ×：診療を実施していないがん

	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況（○：実施可/×：実施不可） /昨年実績（あり/なし）※平成25年1月1日～12月31日		
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術	化学療法	放射線療法
1	泌尿器科	4	4	○ あり	○ あり	× なし
2	放射線科	1	1	× なし	× なし	○ あり
3						
4						
5						

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例：性腺外胚細胞腫
------------------------------------	-----------

29. 原発不明がん

○

○：専門とするがん ×：診療を実施していないがん

	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況（○：実施可/×：実施不可） /昨年実績（あり/なし）※平成25年1月1日～12月31日		
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術	化学療法	放射線療法
1	内科	5	2	× なし	○ あり	× なし
2	放射線科	1	1	× なし	× なし	○ あり
3						
4						
5						

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例：腹腔内原発不明がん
	原発不明がん（未分化がん）

30. 小児脳腫瘍

×

○：専門とするがん ×：診療を実施していないがん

	当該疾患の診療を担当している			治療の実施状況（○：実施可/×：実施不可）					
	診療科名と医師数		当該疾患を 専門として いる医師数	手術	化学療法	放射線療法			
	主な診療科名 (5診療科ま で)	医師数				体外 照射	定位 放射線療法	IMRT	小線源治療
1	放射線科	1	1	× なし	× なし	× なし	○ なし	○ なし	× なし
2									
3									
4									
5									

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例：神経膠腫、頭蓋咽頭腫、髄芽腫、胚細胞腫

3 1. 小児の眼・眼高腫瘍

× ○：専門とするがん ×：診療を実施していないがん

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数				治療の実施状況（○：実施可/×：実施不可） /昨年の実績（あり/なし）※平成25年1月1日～12月31日								
No.	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	状況 実績	手術	冷凍凝固術	光凝 固術	化学 療法	眼動注	放射線療法		
										体外 照射	IMRT	小線源治療
1	眼科	4	4	状況 実績	○ なし	○ なし	○ なし	○ なし	× なし	× なし	× なし	× なし
2	放射線科	1	1	状況 実績	× なし	× なし	× なし	× なし	× なし	× なし	○ なし	× なし
3				状況 実績								
4				状況 実績								
5				状況 実績								

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例：網膜芽細胞腫
------------------------------------	----------

32. 小児悪性骨軟部腫瘍

×

○：専門とするがん ×：診療を実施していないがん

	当該疾患の診療を担当している			治療の実施状況（○：実施可/×：実施不可）						
	診療科名と医師数		当該疾患を 専門として いる医師数	/昨年の実績（あり/なし）※平成25年1月1日～12月31日				放射線療法		
	主な診療科名 (5診療科ま で)	医師数		手術				化学療法	体外照射	小線源治療
			切・離断術	患肢温存術	再建術	骨移植術				
1			状 況 美 績							
2			状 況 美 績							
3			状 況 美 績							
4			状 況 美 績							
5			状 況 美 績							

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例：横紋筋肉腫、線維肉腫、骨腫瘍、ユーイング肉腫
------------------------------------	--------------------------

33. その他の小児固形腫瘍

×

○：専門とするがん ×：診療を実施していないがん

	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況（○：実施可/×：実施不可） /昨年の実績（あり/なし）※平成25年1月1日～12月31日			
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術	化学療法	放射線療法	
						体外照射	小線源治療
1							
2							
3							
4							
5							

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例：神経芽細胞腫、Wilms腫瘍、肝芽腫
------------------------------------	----------------------

34. 小児血液腫瘍

×

○：専門とするがん ×：診療を実施していないがん

	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況（○：実施可/×：実施不可） /昨年の実績（あり/なし）※平成25年1月1日～12月31日						
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	化学 療法	移植			放射線療法		
					自家末梢血幹 細胞 移植	血縁者間同種造血幹細胞移植	非血縁者間同種骨髄移植または臍帯血移植	体外 照射	全身 照射	
1										
2										
3										
4										
5										

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例：急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨
------------------------------------	---